

佐賀県特許を活用した新商品開発の事業化支援

腕時計の文字盤に有田焼が採用されるに至る開発経緯

蒲地 伸明¹、副島 潔¹、松本奈緒子¹、浜野 貴晴²

¹ 佐賀県窯業技術センター

² promoduction(プロモダクション)／佐賀県窯業技術センター 外部アドバイザー

SEIKO
SINCE 1881



有田焼
(有) しん窯

Supported by
佐賀県窯業技術センター
SAGA CERAMICS RESEARCH LABORATORY

<セイコー プレザージュ>

400 年を超える歴史を持つ有田焼をダイヤルに採用

～瑠璃・漆・七宝に次ぐ新たな匠の技～



1. 商品の紹介

<セイコープレザージュ>は、100 有余年にわたる機械式時計作りの伝統とノウハウを受け継ぎ、世界に向けて日本の美意識を発信するブランドです。瑠璃や漆・七宝等、日本の匠の技をとり入れたプレステージラインをはじめ、伝統とテクノロジーが融合した幅広い商品ラインアップで、2016 年からグローバル展開を開始し、世界中で高い評価を得ています。

<<商品特徴>>

有田焼は日本初の磁器として 1616 年に生まれました。それ以来、有田焼の職人技は 400 年にわたり受け継がれ、その独自の芸術性は多くの人を魅了しています。本作のダイヤルの魅力、それは有田焼によって生み出される印象的な色彩と立体的な形状です。初期の有田焼に多く用いられていた柞灰(いすばい)釉の淡く青みがかった白を再現しました。さらに、磁器の厚みを活かしたダイヤル上

面の大きなカーブ、多針モデルにおいてはサブダイヤルに柔らかくなくぼみを与えることで、磁器特有の優美な表情を実現しています。

磁器の魅力とダイヤルとしての強度を両立させる、という難しい命題を従来の 4 倍以上の強度を持つ、新たに開発された高強度の磁器素材を用いることで解決しました。新素材によるこの腕時計のダイヤルは、180 年以上続く老舗「しん窯」に所属する伊万里・有田焼下絵付の伝統工芸士 橋口博之氏監修のもと制作されます。

ダイヤルを生み出す過程では多くの複雑な技術が必要となります。はじめに行われる鑄込み工程では、立体的なダイヤルの生地を作り上げます。この作業が完成品の立体感につながる、非常に重要な工程となります。職人の手作業で釉薬を施されたダイヤル生地は焼成により、表面に有田焼らしい淡く青みがかかった美しい光沢が生まれるとともに、1,300℃もの高温で焼き上げることで固くなり、腕時計に相応しい強度が得られます。その後、針の軸穴やカレンダー部分を切り抜き、仕上げ焼きを行うことで断面がスムーズになり、磁器特有の質感と強度を兼ね備えたダイヤルのベースが出来上がります。さらに、国産初の腕時計「ローレル」の意匠を取り入れた印象的な赤と、有田焼の絵付けをイメージした青をインデックスなどに施し、ダイヤルは完成、本体に組み込まれます。(セイコーウオッチ株式会社のプレスリリースから抜粋の上、一部編集)



成形された有田焼ダイヤル。

2. 事業化までの流れ

2014 年 プロジェクトの立ち上げ

「有田焼創業 400 年事業」の一環にて、浜野が佐賀県窯業技術センターの任期付研究員に着任したのを機に、磁器素材の食器外分野への展開を模索し、セイコーウオッチ株式会社へコラボレーションの可能性を持ちかけ、プロジェクトが立ち上がった。

2015 年 可能性の検証

佐賀県窯業技術センターが過去に支援した腕時計の文字盤の製造方法や、文字盤の製品開発を経験していた窯元である有限会社しん窯の取り組みをセイコーウオッチ株式会社に紹介し、製造技術を検証するため、開発プロジェクトが始動した。

2016 年 試作品の制作

1 mm 以下の厚さ、ミクロン単位の製造公差が求められるイノベーティブな開発であることから、有限会社しん窯と佐賀県窯業技術センターとで技術指導契約を結び、蒲地が素材・製造技術開発支援、副島と松本がデジタルデザイン技術による開発支援、浜野がプロジェクトマネジメントおよび事業化支援を担う体制で、セイコーウオッチ株式会社(企画販売)およびセイコーインスツル株式会社(製造)と有限会社しん窯との開発をサポートし、新しい製造技術を検証してきた。

ほぼ時を同じくして、有田焼創業 400 年事業にて蒲地をプロジェクトリーダーとした「世界最高強度磁器の開発」が発表されたこともあり、同素材を用いることで、求められる強度や価格について実現可能性が高まった。

2017 年～2018 年 製品開発

2017 年に浜野の佐賀県窯業技術センターでの任期満了に伴い、セイコーウオッチ株式会社およびセイコーインスツル株式会社、有限会社しん窯、佐賀県窯業技術センターによる開発チームとなったが、引き続き、浜野が窯業技術センターの外部アドバイザーとして、当プロジェクトの支援にも参画。開発チーム一丸となって、量産のための作業工程の確立と製品としてのクオリティを検証し、製品化を進めた。また東京にてセイコーウオッチ株式会社

のデザインやマーケティング担当者との MTG などを通じて、販売戦略等のアドバイスをしない、「セイコー プレザージュシリーズ」での有田焼ダイヤルの採用が決まり、事業化に至った。

2019 年 新商品の発表

2019 年 3 月、スイスで毎年開催されている世界最大の国際的な時計見本市「バーゼルワールド 2019」にて、「セイコー プレザージュ プレステージライン 有田焼ダイヤルモデル」として発表、同年 9 月発売が決定した。

3. 特筆すべき成果

- イノベティブな商品企画、かつニュース性の高いコラボレーションとすることで、有田焼のブランディングに寄与
- 佐賀県特許や佐賀県窯業技術センターの先進技術の活用による市場優位性の確立
- 発信力、販売力のある産地外の企業やクリエイター等との協働により、構想段階から出口まで一貫性のある事業化プロジェクトが実現
- 消費地と産地を繋ぐことで、消費者動向や市場性、生み出される新しい価値や作り手の想いなどを共有化する情報のロジスティックスを構築

4. 補足説明

《商品仕様》

＜セイコー プレザージュ＞ プレステージライン
有田焼ダイヤルモデル



品番	SARW049	SARX061
希望小売価格	200,000円 + 税	180,000円 + 税
ケース	ステンレススチール	
ストラップ	クロコダイル(ダークブラウン)	
ダイヤル	有田焼(ホワイト)	
国内取扱店	セイコーグローバルブランドコアショップ	
発売予定日	2019年9月7日(土)	

【共通商品仕様】

ガラス素材	デュアルカーブサファイアガラス(内面無反射コーティング)
裏ぶた	サファイアガラス(シースルー・スクリューバック)
防水性能	日常生活用強化防水(10気圧防水)
耐磁性能	耐磁時計(JIS耐磁時計1種)
ケースサイズ	SARW049:[外径]40.6mm(りゆうず含まず)[厚さ]14.1mm SARX061:[外径]40.5mm(りゆうず含まず)[厚さ]12.4mm
アフターサービス	メーカー保証 保証期間1年間

参考資料

- 1) セイコーウオッチ株式会社 プレスリリース 2019.3.21.
- 2) セイコーウオッチ株式会社 公式 WEB サイト
＜セイコー プレザージュ＞有田焼ダイヤルモデル
特設ページ https://www.seikowatches.com/jp-ja/products/presage/special/arita_dial/